

芝浦工業大学柏高校 2026年度入試出題傾向

【注意点】

- ・前期入試期間に1回・2回入試のみを実施。GL(ジェネラルラーニングクラス)は3教科(国数英)で判定。GS(グローバル・サイエンスクラス)は原則5教科(国数英理社)で判定。ただし3教科でも上位はGS判定します。
- ・試験は国・数・英・理・社ともに、試験時間は50分で解答はマークシート方式。
- ・受験者平均点は、国英数は60%強程度、理社は70%台を想定して問題を作成しています。また、出題範囲は原則として千葉県公立高校の入試に準拠します。
- ・3教科(国数英)に関しては、思考力を問う問題を出題しています。(下記参照)

【高校入試における本校の思考力の捉え方】

各教科特有の見方・考え方を通して、複雑な課題を適切に解釈し、基礎的・基本的な知識及び技能を活用することで、課題に対して粘り強く向き合い、解決するための思考力や判断力を重視する。

国語：文章の展開を的確に捉え、批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について読み取る力。

数学：基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見出し統合的・発展的に考察する力。

英語：語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら論理的に解釈する力。

- ・出願時に英検2級以上取得申告者は、英語の試験は必ず受験しますが、優遇措置を受けられます。
- ・当日の試験に加え調査書の評定を一定の割合加算し、合否判定を行います。

【国語】(50分100点)

- 1 論説文 2 小説(随想) 3 古文

論説文・小説は段落・場面ごとに内容を整理しながら読み、根拠を必ず本文中に求めるようにしてください。古文については、主語(動作主)を意識しながら読むことをこころがけておくとよいでしょう。

【数学】(50分100点)

- 1 小問集合 2 二次関数 3 場合の数と確率・データの活用 4 平面図形 5 空間図形

幅広い分野から出題をしています。

※大問3は場合の数と確率分野、データの活用分野の両方から出題します。

全体として計算はやや難しくめです。計算力が大切であると考えて出題をしています。作図や証明問題は出題していません。解答が0から9までの数字をマークする形式であるため、他教科に比べ、マークの数が多くなります。マークミスにはくれぐれも注意してください。過去問などでの対策が有効です。

【英語】(50分100点：リスニング約15分を含む)

- 1 リスニング問題 1 2 リスニング問題 2 3 リスニング問題 3
4 短めの文章総合問題 5 文章総合問題 1 6 文章総合問題 2

リスニング問題では ①短い会話を聞き、その情報から正しい写真や絵を選べるか ②短い文や会話文を聞き特定の情報を聞き取ることができるか ③長めの文や会話文を聞き特定の情報を聞き取ることができるかを問う問題を出題します。

昨年度から、文章問題の大問1つの語数を減らしています。2題は例年通り文章量が多いので、過去問題を参考にしながら速く正確に内容を読み取る練習をしましょう。文章の内容を問う問題を中心に出题します。学習指導要領に配慮していますが、過去に本校の入試で用いた単語、熟語や文法は出題しています。

【理科】(50分100点)

学習指導要領内で解ける問題を作成します。県立の問題とほぼ同じ難易度で物理、化学、生物、地学の4分野からバランスよく出題します。知識問題のみならず、実験に関する問題、計算問題なども出題しますので、それらの対策もしっかり行っておいてください。

- 1 生物 2 地学 3 化学 4 物理
5 生物 6 地学 7 化学 8 物理

【社会】(50分100点)

学習指導要領内で解ける問題、千葉県の公立高校入試問題とほぼ同じ構成で、地理、歴史、公民の3分野からバランスよく出題します。なお、総合問題はありません。マーク式の選択問題なので、語句選択もありますが、文章の正誤や理解を問う出題が中心となります。日々の学習から、内容の正しい把握・理解につとめてください。また、統計や地形図、図、表、写真などの資料を活用する出題もあります。教科書や副教材などの資料なども確認し、より深い理解を心掛けてください。

- 1 日本地理 2 世界地理 3 前近代史 4 近現代史 567 公民

芝浦工業大学柏高等学校 2025 年度高校入試分析

国語

全体を通して

第1回・第2回ともに「論説文」「随想または小説」「古文」の3題構成、および各回それぞれの設問も、問数・設問内容・レベルが同じになるように作られています。すべて選択式問題ですが、漢字の問題、傍線部の説明をふたつ選ぶ問題、登場人物の発言の内容を答える問題で差がついています。

差のついた問題について

評論文では、①漢字と②傍線部の説明をふたつ選ぶ問題のふたつめが大きく合否差が出ました。ア～カのうちから適切な説明をふたつ選ぶ問題で、ひとつめは合・不合ともに高い正解率でしたが、ふたつめは合否差が26%と高く出ました。傍線部についてしっかりと噛み砕いて理解できているかが分かれたのではないのでしょうか。本文の記述そのままではなく、自分の言葉で理解できるよう普段から意識できるとよいですね。

小説では、③登場人物の発言の内容を答える問題で26%の差が出ました。選択肢の文章が長く、そのなかで発言の内容を正しく言い換えられているものを選びなくてはなりません。②と同様、本文をそのまま読むだけではなく、その記述が何を意味しているのか考えながら読み進めると効果的です。

古文では、1、2回とも大きな合否差は見られませんでした。10%前後の差は多くの問題で出ています。できるだけ時間を見つけて古文に触れ、音読する機会を増やすとよいでしょう。その際、主語（動作主）が誰なのか、何をしているのか、指示語は何を指すのか、などを意識しながら読むようにしましょう。

①漢字の問題【第1回 一（1）②】

②
ギワク

ア キョギの申告をしてはいけない。
イ 自然とはコウギの意味で地球そのものだ。
ウ 今後についてはカイギ的だ。
エ 子どものためのユウギ施設が建設される。
オ 昆虫が木にギタイする。

解答 ウ

(2)

文章中に、^A全体の気遣いこそほんとうのプロフェッショナルが備えていなければならないものなのであり、またよきフオロワーシップの心得というべきものである」とあるが、この部分についてクラスで話し合いが行われた。次の先生の発言を受けて、本文で筆者が説明する内容に沿って述べている意見として適当なものを、あとのア～カのうちから二つ選びなさい。

先生 筆者は、地域社会や震災復興に関する問題を指摘しながら、現代が「縮小してゆく時代」だと述べ、コストを減らすことや規模の小型化といったダウンサイジングが求められていることを説明しています。このような社会において「全体の気遣い」が、「ほんとうのプロフェッショナル」であるリーダーや「よきフオロワーシップ」の心得であると主張し、この心得を『しんがりの思想』と呼んでいますね。では、「全体の気遣い」とはどのようなことなのか、取り上げられている例などもふまえて考えていきましょう。

ア 登山グループの話では先頭よりも最後尾でみなを見守って進むことの大切さが説明されています。このように全体の気遣いとは社会にいる一人ひとりが誰かのために自分の役割を果たすことだと思えます。

イ 登山や退却戦の例ではみなのために危険な状況に置かれる人がいることが説明されています。全体の気遣いとはこのような人にすべて任せるのではなくみなで負担を分け合うことだと思えます。

ウ 復興事業に関して防災だけでなく生活や社会全体の再興が大切だと述べられています。つまり全体の気遣いとは起きた問題の解決だけで

はなく人々の暮らしや将来まで見通して対策することだと思えます。

エ 登山や退却戦でみなを見守る立場の大切さが述べられています。つまり、全体の気遣いとは誰かが危険や困難で苦しんでいないか観察し、そのような人を取り残さないようにすることだと思えます。

オ 退却戦の話では危険な場に最後まで残って味方の安全を確認する人が必要だと説明しています。全体の気遣いとはこうやって最後まで残り続ける人を切り捨てず、全員の命や生活を守ることだと思えます。

カ 見込みの甘さから五輪誘致が復興事業を遅延させることになったと述べられています。つまり全体の気遣いとは規模の大きな事業を順調に進行させるような技術力や経済力を社会が持つことだと思えます。

解答 エ (ひとつめはウ)

解答 ウ

(1) 文章中に「やっばり、^Aできません」とあるが、ここで「私」が言おうとしているのはどのようなことか。その説明として最も適当なものを、次のア～オのうちから一つ選びなさい。

ア 父は映画よりもギャンブルに夢中であるためブログを書く企画に真剣に向き合えないし、企画にかかわることでギャンブルから足を洗うという目的も達成することはできそうにないということ。

イ 父がギャンブルをやめられないことに対する不安や、いいかげんな人間だと見抜けず父をウェブの書き手にしていた責任を感じる気持ちから、自分は企画にかかわることができないということ。

ウ トラブルを抱えて仕事を成し遂げられそうもない父は映画雑誌のブログを書くのはふさわしくないし、大切な仕事を父の更生に利用しようとした自分も企画にかかわるのは許されないとということ。

エ 父が仕事よりもギャンブルを優先したりブログを書くことを通してギャンブルから距離を置こうとしたりしていることは、あまりにも自己中心的で企画にかかわるのにふさわしくないということ。

オ ウェブの書き手になるはずだった父がまた勝手な行動をとったことに対する動揺と、大変な思いをしている母を心配する気持ちから、今の自分は仕事を続けることができそうもないということ。

数学

全体を通して

1 小問集合、2 二次関数、3 場合の数・確率・データの活用、4 平面図形、5 空間図形 の5題構成で広い分野から出題をしています。例年、図形の問題や図形に関わる問題で差がつく傾向があります。

差のついた問題について

2025 年度入試の差のついた一問は二次関数の問題と空間図形の問題でした。差のついた二次関数の問題は第 2 回の 2 の(2)です。図形の性質を利用する問題として捉えられるかどうかポイントとなります。高さが等しい 2 つの三角形に着目し、2 つの三角形の面積比がその底辺の長さの比に等しいという性質を利用します。差のついた空間図形の問題は第 1 回の 5 の(3)です。この空間図形の問題ですが、相似な図形の性質を利用するために面 AEGP に着目できるかどうかポイントとなります。平行な 2 本の直線に着目することで相似な三角形を発見し、相似な三角形の対応する辺の長さの比が等しいという性質を利用します。

第 2 回 2 の問題

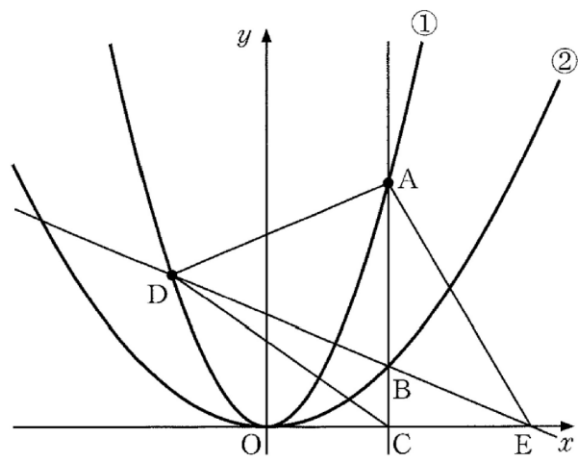
2 放物線 $y = \frac{1}{2}x^2 \cdots \textcircled{1}$ と放物線 $y = \frac{1}{8}x^2 \cdots \textcircled{2}$

がある。

点 A は $\textcircled{1}$ 上の点で、 x 座標は 4 である。

点 A を通り y 軸に平行な直線と $\textcircled{2}$ 、 x 軸との交点をそれぞれ B、C とする。

$\textcircled{1}$ の x 座標が負の部分に点 D をとり、直線 BD と x 軸との交点を E としたとき、 $\triangle ABD$ の面積と $\triangle BCE$ の面積の比は 9:2 である。



(1) 線分 BC の長さは線分 AB の長さの $\frac{\text{ア}}{\text{イ}}$ 倍

(2) $\triangle BCE$ の面積は $\triangle BCD$ の面積の $\frac{\text{ウ}}{\text{エ}}$ 倍

(3) 点 D の x 座標は $-\sqrt{\text{オカ}}$

(4) $\triangle ADE$ の面積は $\text{キク} + \text{ケ}\sqrt{\text{コサ}}$

差のついた 第2回 2の(2)の解説

条件より

$$\triangle ABD:\triangle BCE=9:2 \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

高さが等しい三角形の面積比はその底辺の長さの比に等しいから、 $AB:BC=3:1$ より

$$\triangle ABD:\triangle BCD=3:1 \quad \dots\dots \textcircled{2}$$

を得る。

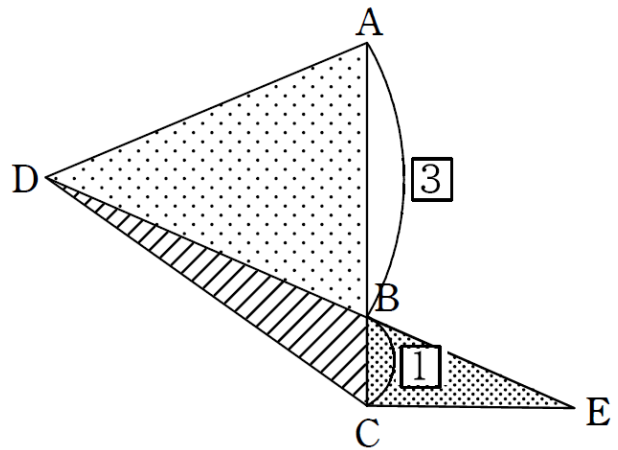
$$\textcircled{1}, \textcircled{2} \text{より } \triangle ABD:\triangle BCE:\triangle BCD=9:2:3$$

が成り立つから

$$\triangle BCE:\triangle BCD=2:3$$

を得る。

したがって、 $\triangle BCE$ の面積は $\triangle BCD$ の面積の $\frac{2}{3}$ 倍である。



第1回 5の問題

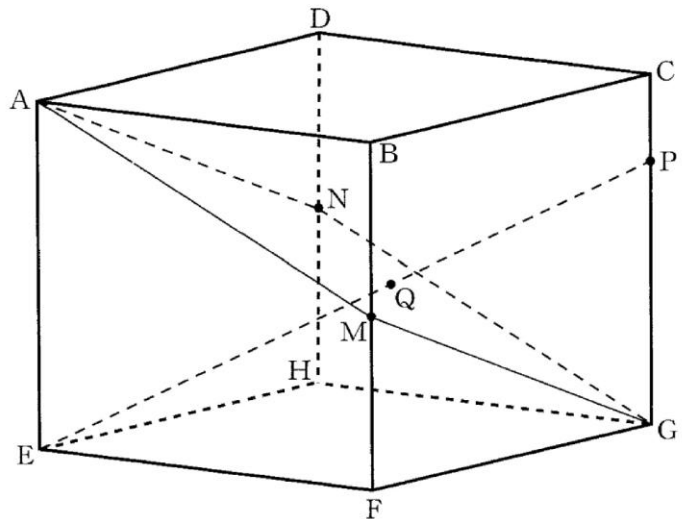
5 $AB=10\text{ cm}$, $AC=16\text{ cm}$ のひし形

$ABCD$ を底面とし、 $AE=8\text{ cm}$ を高さとする四角柱 $ABCD-EFGH$ がある。

辺 CG 上に $CP=2\text{ cm}$ となる点 P をとる。

辺 BF , DH の中点をそれぞれ M , N とすると、4点 A, M, G, N は1つの平面上にある。

直線 EP と平面 $AMGN$ との交点を Q とする。



(1) $BD = \boxed{\text{ア}}\boxed{\text{イ}}\text{ cm}$

(2) $AG = \boxed{\text{ウ}}\sqrt{\boxed{\text{エ}}}\text{ cm}$

(3) 線分 PQ の長さは線分 QE の長さの $\frac{\boxed{\text{オ}}}{\boxed{\text{カ}}}$ 倍

(4) 点 P と平面 $AMGN$ との距離は $\frac{\boxed{\text{キ}}\boxed{\text{ク}}\sqrt{\boxed{\text{ケ}}}}{\boxed{\text{コ}}}\text{ cm}$

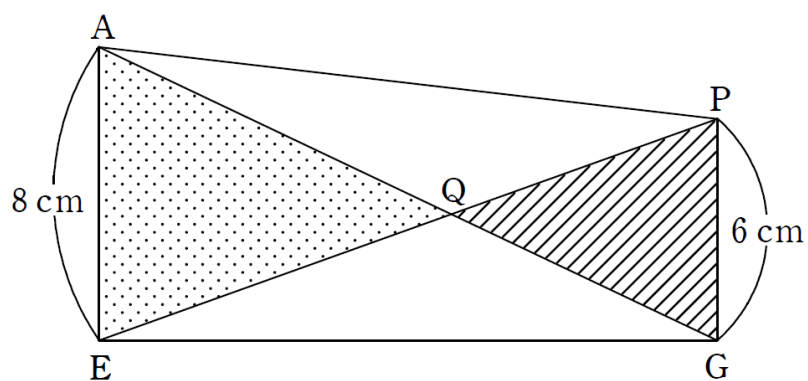
$AE \parallel PG$ であるから、 $\triangle QAE \sim \triangle QGP$ が成り立つ。
相似な三角形では、対応する辺の長さの比は等しいから

$$QE : QP = AE : GP$$

を得る。 $AE = 8 \text{ cm}$ 、 $GP = 6 \text{ cm}$ であるから

$$QE : QP = 8 : 6 = 4 : 3$$

を得る。したがって、線分PQの長さは線分QEの長さの $\frac{3}{4}$ 倍である。



英語

全体を通して

第1回、2回の平均点はそれぞれ63.3点、58.8点でした。リスニング問題の平均正答率は、第1回が71%、第2回が80%であり、昨年同様、リスニングに強い受験生が多かったことがうかがえます。つまり、合否を分けたのは読解問題であったと言えます。同時に、リスニングでミスをするとう挽回が難しいということも浮き彫りになりました。リスニング対策の1つとして、まず設問や選択肢を事前に読み、何に重点を置いて聴くべきかを見極めて解答に備えるという練習をしておくといよいでしょう。また、長文総合問題は受験生の総合力を問う内容理解問題が中心で、合格者と不合格者の正答率の差が顕著に現れる傾向にあります。基本的な語彙や文法の習得はもちろん、文章内の情報を整理しながら内容を把握することを意識して学習することが大切です。昨年に比べて問題量はやや減少したものの依然として多く出題されるため、日頃から英語を英語のまま読む習慣を身につけておくことが重要です。

差のついた問題について

高校前期1回

大問6 (3)

問 次の(1)~(3)がそれぞれ本文の内容に合う英文になるように、()に入る最も適当なものを、下のア~エのうちから一つずつ選びなさい。

(3) The necklace the hotel keeper's wife gave to Jonathan might ().

- ア lead him to stay safe
- イ be useless to kill enemies
- ウ be worth selling to the Count Dracula
- エ remind him of his girlfriend

into a little hotel. Inside the hotel it was warm and friendly. The people there were all laughing and talking. "Where are you going?" they asked me.

"To Castle Dracula," I replied.

Suddenly the room was silent and everyone turned to look at me. I could not understand why they all looked afraid.

"Don't go there," someone said.

"But I have to," I answered. "It's business."

They began to talk again, but they were no longer laughing. Slowly, the hotel keeper's wife took the gold cross from her neck and put it into my hand. "Take this," she said. "There is danger at Castle Dracula. Perhaps this will help you."

When the coach arrived and I got into it, a crowd of people came to watch, and I heard the word "vampire."

解説

第8段落の第1文 "Suddenly the room was silent and everyone turned to look at me." (突然、部屋は静まり返り、皆が私を見ました。) から、それまで和やかに会話していた雰囲気が一変し、場が凍りついた様子がうかがえます。さらに、第4文 "There is danger at Castle Dracula. Perhaps this will help you." (ドラキュラ城には危険があります。おそらく、これがあなたの助けになるでしょう。) から、「私」が向かおうとしている場所が危険であることが予想されます。そのことを知っていた the hotel keeper's wife は、金の十字架を渡し、「これがあなたを守ってくれるでしょう」と伝えました。以上のことから考えて、lead him to stay safe が正解であると言えます。

大問 4(1)

- 4 次の英文中の(1)~(5)の空欄に入る最も適当なものを、下のア~カのうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。ただし、同じものを二度用いないこと。また、ア~カには余分なものがある。

Bird flu is a sickness, believed to be only in birds. (1)_____ People can get bird flu if they touch a bird that carries the sickness. Once a person has this flu, they will get very sick and may die. (2)_____ That's because, for now, people can't get this flu from other people. They can only get it from birds.

(3)_____ Doctors think that bird flu could change into a sickness that can go from person to person. If that happened, things would be very difficult. If it went easily from one person to another, many people all around the world would die.

(4)_____ Doctors are trying to find medicine that will stop bird flu. If doctors can make this kind of medicine, and if most people around the world take it, then bird flu will not be a problem. (5)_____

【出典】READING FOR SPEED AND FLUENCY SECOND EDITION 1, 2018

- ア Also, people avoid touching birds.
- イ Then, what can we do to stop this from happening?
- ウ But for now, we must watch bird flu very carefully.
- エ However, not many people have died from the bird flu.
- オ Still, doctors think that bird flu could become a big problem.
- カ But in fact, people can get this bird sickness, too.

解説

第1段落の冒頭の文“Bird flu is a sickness, believed to be only in birds.”（鳥インフルエンザは鳥の間だけに存在すると考えられている病気である。）では、鳥インフルエンザが鳥に限定された病気であるという一般的な認識が述べられています。しかし、その後の文では「実は人間もこの病気にかかる可能性がある」ことを説明する必要があります。選択肢を見ると、カ **But in fact, people can get this bird sickness, too.**（しかし実際は、人間もこの鳥の病気にかかる可能性がある。）が、この流れに最も適しており、これにより「鳥だけの病気だと思われがちだが、実は人間も感染する可能性がある」という対比が生まれ、文の意味がスムーズにつながります。他の選択肢は、この部分の流れには適合しない。

理科

全体を通して

1, 2回入試いずれも生物・地学・化学・物理から2題ずつの8題構成になっています。生物・地学・化学・物理がまんべんなく出題され、2025年度入試の合格者平均の得点率は2024年度入試同様85%以上でした。2026年度入試では同様の難易度で出題する予定です。よって、極端な苦手分野があるとボーダーラインに届きにくくなりますので、各分野バランスよく学習する必要があります。

差のついた問題について

例年、合格者と不合格者と大きく差がついているのは、計算問題です。

- ① 2段階にわたる計算問題
- ② グラフや表から読み取った数値を用いて計算に繋げる問題

2025年度入試で差がついた問題例【1】・・・2段階にわたる計算問題

1回入試より 大問8 (4)

(正答率：合格者78%、不合格者35%)

実験

- ① 図1のような、高さ5 cmの直方体の物体A～Cを用意した。AとBは形や大きさは同じだが別の物質でできており、質量はAが120 g、Bが160 gである。また、CはAと同じ物質でできているが体積は異なっており、質量は240 gである。

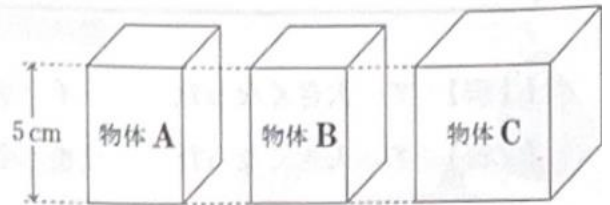


図1

- ② A～Cを、それぞれ図2のように、糸を使ってばねばかりにつるし、水槽の水の中に少しずつ沈めていき、水面から物体の下面までの距離と、ばねばかりの示す値の関係を調べた。表は、AとBの結果と、Cの結果の一部をまとめたものである。

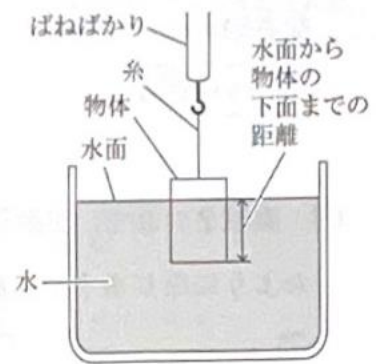


図2

表

水面から物体の下面までの距離[cm]		0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0
ばねばかりの示す値[N]	A	1.2	1.0	0.8	0.6	0.4	0.2	0.2	0.2
	B	1.6	1.4	1.2	1.0	0.8	0.6	0.6	0.6
	C	2.4	2.0	1.6	1.2				

- ③ Aと形や大きさは同じだが、別の物質でできている直方体の物体Dを用意した。Dの高さは5 cmで、質量は60 gである。図3のように、Dを水槽の水の中に入れ、手をはなしたところ、Dは一部が水面より上に出た状態で浮いて静止した。

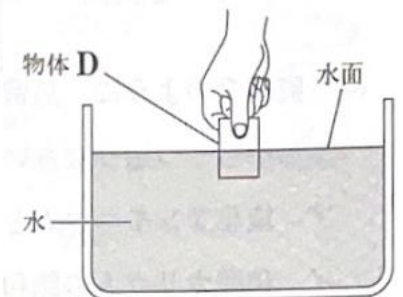


図3

(4) 実験の③で、Dが浮いて静止したとき、Dの水面より上にある部分の体積と、水面より下にある部分の体積の比を最も簡単な整数の比で表すとどのようになりますか。□あ□，□い□にあてはまる数字をそれぞれ答えなさい。

水面より上の部分の体積：水面より下の部分の体積＝□あ□：□い□

(解説)

直前までの表や情報が与えられていた物体A～Cとは異なり、今回は新たに登場した情報が少ない物体Dについて考えます。この問題では、物体Dが重力と浮力が釣り合い浮いて静止する場合について扱います。

まず、設問から物体Dの質量が60gであり、物体Dに働く重力の大きさは0.6Nであることがわかります。物体Dが重力と浮力が釣り合い浮いて静止していることから、物体Dに働く浮力の大きさも0.6Nであることがわかります。

次に、物体AとDは形状と大きさが同じであることが示されています。浮力は物体が水中で沈んでいる体積によって決まること（アルキメデスの原理）から、物体Aに働く浮力が0.6Nとなると、Aの沈んでいる体積（または沈んでいる長さ）を考えることで、物体Dの沈んでいる長さを求めることができます。

表より、重力の大きさが1.2Nである物体Aが3.0cm沈んでいるとき、ばねばかりの支える力が0.6Nなので、浮力の大きさは $1.2\text{N} - 0.6\text{N} = 0.6\text{N}$ です。したがって、物体Aに働く浮力の大きさが0.6Nになるのは、Aが3.0cm沈んでいるときであることが確認できます。

このことから、物体Dに働く浮力の大きさが0.6Nになるためには、物体Dも3.0cm沈む必要があることがわかります。つまり、物体Dは水面上に2.0cm出ており、水面下に3.0cm沈んでいる状態であることが確認できます。

設問では、水面上に出ている体積と水面下に沈んでいる体積の比を求められていますが、物体Dは直方体であるため、この長さの比がそのまま答えとなります。したがって、答えは2：3です。

この問題では、基礎的な法則や原理をしっかりと理解したうえで、問題文の情報を丁寧に整理し、情報の少ない物体Dについて段階を踏んで考える必要がありました。

2025年度入試で差がついた問題例【2】・・・実験に関する考察問題

2回入試より 大問3

(正答率：合格者82%、不合格者45%)

実験2

① 図2のように、アクリル容器をセロハンの膜で区切り、一方には硫酸銅水溶液と銅板を、もう一方には硫酸亜鉛水溶液と亜鉛板を入れた。銅板と亜鉛板をそれぞれ導線でプロペラ付きモーターにつないだところ、プロペラが回転した。その後、回転する速さは少しずつおそくなったが、長い時間、回転し続けた。

② 図2からセロハンの膜をとりのをぞいたものを用いて、①と同様の実験を行ったところ、プロペラが回転したが、回転する速さは①と比べて短い時間でおそくなり、そのうち止まった。

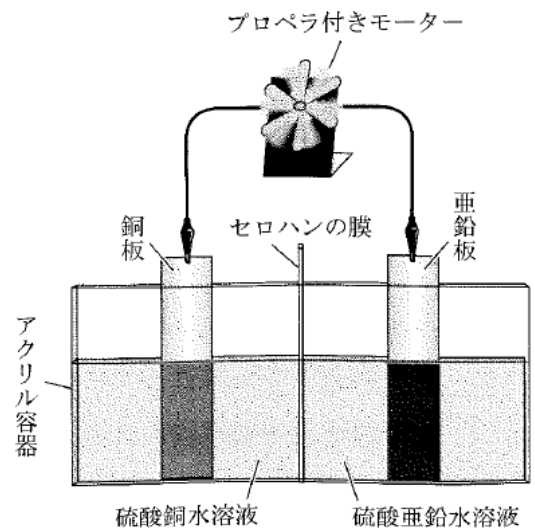


図2

(5) 次の文は、実験2の②について述べたものです。□1にあてはまるものを1群のア～エのうちから、□2にあてはまるものを2群のア～エのうちから、最も適当なものをそれぞれ一つずつ選びなさい。

実験2の②では、セロハンの膜をとりのをぞいたことで、すぐに□1の間で電子の受け渡しが起こり、これによって□2が付着する反応が起きた。

【1群】 ア 銅原子と亜鉛イオン イ 銅イオンと亜鉛原子
ウ 銅原子と亜鉛原子 エ 銅イオンと亜鉛イオン

【2群】 ア 銅板に銅 イ 銅板に亜鉛 ウ 亜鉛板に銅 エ 亜鉛板に亜鉛

(解説)

実験1で銅より亜鉛の方がイオンになりやすいことを確認した後のダニエル電池の問題です。セロハン膜がない状態では、2つの溶液が混じりあうため、亜鉛板付近にも硫酸銅水溶液に含まれていた銅イオンが存在します。亜鉛板から生じた電子（-の電気）が亜鉛板付近の銅イオン（+の電気）に受け渡され、亜鉛板上では金属の銅が生じます。

よって答は、【1群】ーイ 【2群】ーウ になります。

このように実験の考察問題では、日頃から現象を丸暗記することなく、その理由やそれに基づく原理とともに学習することが求められます。

社会

全体を通して

社会科は、地理・歴史・公民全分野から出題されます。千葉県公立高校の入試を参考にして、基礎学力を問う出題を中心に構成していますので、まずは基礎・基本事項を丁寧に学習して入試にのぞんでください。ただし問題のレベルは、千葉県の公立入試の問題よりも難しい問題もいくつか含んでいます。

社会科の問題傾向としては、文章正誤問題が比較的多く出題されます。暗記に頼るだけではなく、自分の知識=学習成果を活かして正解を導く作業が必要となります。日頃より内容の理解を十分に意識した学習につとめてください。

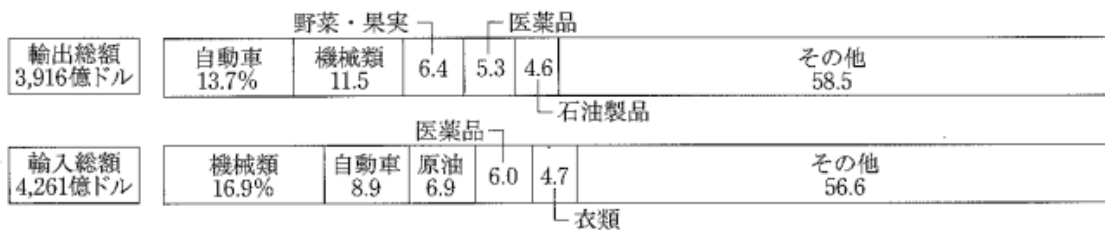
また苦手な分野があると、そこでの失点が大きくなりますので、苦手分野の対策も怠らないように心掛けて、3分野ともに満遍なく得点できるように準備してください。

差のついた問題について

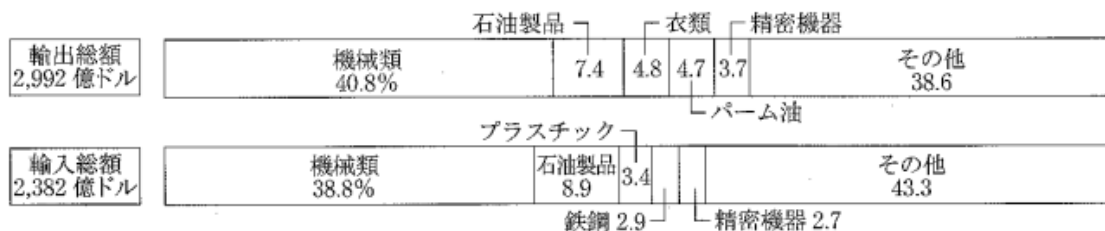
地理分野 第2回 大問2 (7)

(7) 次の資料1は、地図中のスペインの輸出総額とその内訳及び輸入総額とその内訳、資料2は、地図中のマレーシアの輸出総額とその内訳及び輸入総額とその内訳を示したものである。資料1と資料2から読み取れることとして最も適当なものを、あとのア～エのうちから一つ選びなさい。

資料1 地図中のスペインの輸出総額とその内訳及び輸入総額とその内訳(2021年)



資料2 地図中のマレーシアの輸出総額とその内訳及び輸入総額とその内訳(2021年)



(資料1, 資料2とも、「世界国勢図会 2023/24」より作成)

- ア マレーシアの輸出額の上位5品目のうち、機械工業の製品に含まれる品目の割合の合計は、スペインの輸出額の上位5品目のうち、機械工業の製品に含まれる品目の割合の合計の2倍以上である。
- イ スペインでは、自動車の輸出額は自動車の輸入額よりも多く、機械類の輸出額は機械類の輸入額よりも少ない。
- ウ マレーシアの機械類の項目を見ると、輸出額は輸入額の1.5倍以上であり、マレーシアの精密機器の項目を見ると、輸出額は輸入額の2倍以上である。
- エ スペインの輸出額の上位5品目の割合の合計は、マレーシアの輸出額の上位5品目の割合の合計の半分以下である。

合否差 22%となっています。スペインとマレーシアの貿易に関する問題です。細かい知識を問うよりは、統計をよく読み取り、必要に応じ計算をした上で比較をしながら、正解を導くものとなっています。

この文において、自動車の輸出額は全輸出額 3916 億ドルの 13.7%で約 536 億ドル、輸入額は全輸入額 4261 億ドルの 8.9%で約 379 億ドルで輸出額の方が多く、機械類は全輸出額 3916 億ドルの 11.5%で約 450 億ドル、輸入額は全輸入額 4261 億ドルの 16.9%で約 720 億ドルで輸入額よりも少なくなるため、これが正解となります。試験時間内に計算をするのは大変な面もありますが、時間配分を考えながら、選択肢の文章と照らし合わせながら進めることが重要です。

スペインがヨーロッパにあり、工業国であること。マレーシアは東南アジア諸国の中でもいち早く工業化を進めた結果、経済的には高い水準にあること等、背景となる知識が多ければ多いほど、問題を解く際のヒントが増えていきます。日頃の学習においては、地図の中で国名と位置をしっかりと把握すること、教科書や参考書に出てくる用語や事実が、統計やグラフの中でどのように表れているのかを意識すること等を心掛けて学習を進めてほしいと考えています。

地理分野ではこのように図表やグラフから情報を読み取る問題が出題されます。時間を要するので配分には十分気を付けてください。丁寧に読み取れば正解しやすいため、1つ1つの細かい情報を見落とさず、特に凡例は確実にチェックして解きましょう。

歴史分野 第1回 大問4 (3) ①

(5) 略年表中の E の時期に起こったできごとについて述べた文として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア 公害対策基本法が制定され、その後に環境庁が設置された。
- イ 子どもを小学校に通わせることを国民の義務とする学制が出された。
- ウ 日本はサンフランシスコ平和条約を結ぶとともに、国際連合に加盟した。
- エ 労働組合法や労働基準法などの労働者に関する法律が制定された。

この問題は合格者の正解率は 78%ですが、不合格者は 38%と、大きく差が開いた問題で、まさしく合否をわけた問題といえましょう。

この問題の正解率が開いた理由として、以下の2点が考えられます。

1つ目は、近現代史の問題ということです。幕末以降の近現代史は、事象・背景なども複雑になり、江戸時代以前と比べると理解するには、時間も労力もより必要とされます。また学校によっては、範囲の後半で学習時間が限られてくるため、授業内容が簡単になったり、省略されたりすることもあると聞いています。しかし、本校では現在に直結する重要な時代と認識して出題をしています。本校の入試問題では、第二次世界大戦後の現代史まで出題しますので、この時代まで確実に学習を重ねてください。

社会・教育・外交・産業など多様な分野の内容を含んだ問題だということです。テーマ史においては、外交史、経済・産業史、文化史などは、受験生が比較的苦手とするテーマ史ですが、それらを含んで多岐にわたったテーマを含んでいるため、これらの内容を十分に理解していない受験生には難しく感じたのではないのでしょうか。

最後に、本校の歴史の入試問題は文章正誤問題が多く出題されます。暗記などでは対応できない、内容の

理解度にまで及んだ問題が中心となっています。内容の理解度を高める学習を心掛けておいてください。

この他の問題形式では、時代の並べ替えも差がつきやすい傾向にあります。本校では年号を直接出題する問題は出題しませんが、歴史なので流れは大切ですので、時代の並べ替え問題は出題します。時代の流れも意識して、日常の学習を深めてください。

公民分野 … 第1回 大問5 (3)

(3) 下線部 c に関連して、次の I、II の文は、日本の内閣について述べたものである。I、II の文の正誤の組み合わせとして最も適当なものを、あとのア～エのうちから一つ選びなさい。

I 内閣は、国政調査権をもっている。

II 内閣は、憲法改正の発議を行うことができる。

ア I：正 II：正 イ I：正 II：誤 ウ I：誤 II：正 エ I：誤 II：誤

合否差27%と25年度入試の公民部分で最も差がついた問題です。全体正答率も56%と社会科の中では低く、合否の試金石になった問題と思われます。

この問題で差がついた要因は二つ挙げられます。一つ目は問題形式です。一般的な四択形式などと異なり、I・II両方の項目の正誤を判別しなくてはならない問題です。消去法が使えずI・IIの項目両方についての正確な知識理解が求められます。本校の高校入試の問題は公立高校の入試に模しつつも、点差をつけるため、このような問題形式が少なくありません。学習事項全般にわたってあいまいな部分を残さず正確に理解しつくすよう心掛けてください。

二つ目の要因は、問題内容です。この問題は、三権分立における三権の抑制関係を扱っています。「内閣は国家に対して解散権、裁判所に対しては長官の指名権」「国会は、内閣に対して国政調査権、司法に対しては弾劾裁判権」などのように、それぞれの権限を用語の組合せとして覚えているだけでは、どうしても記憶があやふやになり、この問題のような正確に正誤判断しなくてはならない問題でミスが生じてしまいます。大切なのは、それぞれの権限がなぜそれぞれの機関に割り振られているのか、理由までふくめて理解しておくことです。そのような理解の仕方ができていればこの問題は間違いようのない問題ということもできるくらいです。Iについては、国政調査権とは国が日々行っている政治（つまり行政）を調査する権限です。内閣は行政権を担っている当事者ですから、行政に問題ないかを調査するこの権限を内閣が持っていると考えるのは困難です。国政調査権は、主権者たる国民の直接の代表者である国会が、行政に問題がないかを調べる権限です。IIについては、憲法とは主権者である国民が、国家権力を縛るためにつくっているものです。内閣は、国民によって定められた憲法に従って行政を行います。であれば、内閣自体が、内閣を縛るルールを改正できてしまうことは危ういことでしょう。憲法改正の発議権も、国民の直接の代表である国会が有しています。

公民分野で扱う制度や仕組みは、多くが私たち人間がつくったものです。そこには、「なぜそうなるのか?」「なぜそのような制度にしているのか?」といった理由があります。丸暗記ではなく、自分の頭でよく考えて、理解したことをほかの人に説明できるように、学習を進めてください。